

2022年度 システム教育委員会 成果報告



一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会 システム教育委員会 委員長 赤木 信裕

医用画像システム部会の役割と活動

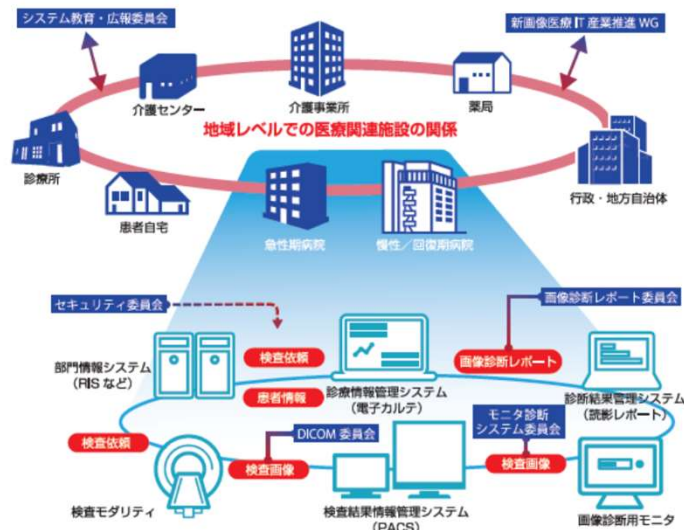
医用画像システム部会

当部会の目的

画像医療に関連する情報システム市場の健全な発展に寄与する。

活動内容

本委員会 画像医療情報システムの安全性・相互運用性・品質確保に関する標準規格・ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と積極的に協議して推進する。		
DICOM委員会 会員企業を代表し、DICOM規格の国際会議のメンバーとして制定に参画、ならびに画像情報関連規格の検討および普及の推進。	セキュリティ委員会 セキュリティに関する国内外の規格/ガイドライン等の制定への参画、その他関連情報の交換や検討および普及の推進。	モニタ診断システム委員会 モニタ診断普及のためのガイドラインや規格の作成およびモニタ品質管理に関する普及活動。
画像診断レポート委員会 読影レポートの標準化やデータ移行の負担軽減を目的とするデータ交換手順の標準化ツールの作成。	システム教育・広報委員会 各種展示、勉強会の企画立案と実行、広報紙による部会・委員会活動の広報活動。	新画像医療IT産業推進WG 画像関連の医療情報の扱いに関する関連団体の情報収集やGHSの普及活動。



医用画像システム部会



JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会

システム教育委員会の2022年度活動計画

- 医用画像システム部会の教育・広報活動としてホームページ運用を担当
- Web開催のITEM2022において、医用画像システム部会関連の運営準備協力
- 医用画像システム部会の活動紹介パネル（電子版）の作成と掲載
- ヘルスソフトウェア開発ガイドライン関連のパンフレット（電子版）の掲載
- IHE活動に関するパンフレット（電子版）の配布
- 「DATA BOOK 2023 図表で見る画像医療システム産業」継続発行の加筆修正
- **主催：夏の勉強会、成果報告会/特別講演会の企画・開催**
- **各委員会主催セミナーへの支援**

2022年度システム教育委員会の具体的な活動内容

- ITEMの広報活動⇒JIRAウェブブースへ電子版パンフレット提供
- 部会各委員会活動の広報活動
- ホームページ運営
- 定例の会員向け・関係団体向け勉強会・セミナー開催の支援
2022年度に開催に関与したセミナー
 - **JART-JIRAモニタ精度管理セミナー（モニタ診断システム委員会）**
 - **夏の勉強会（セキュリティ委員会）**
 - **既読管理セミナー（画像診断レポート委員会、経済部会、JART）**
 - **成果報告会特別講演会（医用画像システム部会 各委員会）**

JART - JIRAモニタ精度管理セミナーへの支援

- 第8回JART-JIRA モニタ精度管理セミナー（6月25日）
 - コロナ禍による2年間のブランクを経て対面セミナーとして開催
 - 両団体の事務所移転に伴いEIZO（株）東京事業所にて開催
 - 感染防止対策のため参加人数を絞って開催(募集28名:当日25名)
 - システム教育委員会は映像収録、感染対策などで開催支援
 1. 医用画像表示用モニタの特徴と品質管理の実態
公益社団法人 日本診療放射線技師会 理事 松田 恵雄 先生
 2. モニタ実機によるヒヤリハット体験
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 3. モニタの品質管理に関するガイドライン (JESRA X-0093*B-2017)の紹介
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 4. 病院での品質管理について
東北大学病院 診療技術部放射線部門診療放射線技師長 坂本 博 先生
 5. モニタの品質管理のデモンストレーション
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会

夏の勉強会の開催

● 夏の勉強会（8月30日）：

- 背景：ランサムウェアなどによる医療機関へのサイバー攻撃が増加
- テーマ：医療情報システム・画像診断機器をねらったサイバー攻撃に対する対応と防御

■ サイバー攻撃を経験した医療機関の事例（診療現場の対応とシステム復旧への対応）

■ サイバー脅威に対するJIRAセキュリティ委員会とセキュリティベンダーの取り組み

■ 開催詳細

- I. 開催方法：Zoom Webinarによるリモート開催
- II. 外部講師3名は大阪よりリモート参加
- III. 募集人数：90名（申込み80名超）
- IV. 参加対象：JIRA会員 および 非会員
- V. 参加費用：無料

夏の勉強会のプログラム

1.「工業会でのサイバーセキュリティ対策活動」

セキュリティ委員会 委員長 堀野 誠人

2.「PACS障害の経験と対応」臨床対応と技術対応

①臨床対応編

地方独立行政法人市立東大阪医療センター 医療技術局局長 倉橋 達人 先生

②技術対応編

地方独立行政法人市立東大阪医療センター 経営企画課主査 鈴木 淳 先生

3.「高度化するサイバー脅威と医療システムに求められるセキュリティ対策の考え方」

トレンドマイクロ株式会社 公共ビジネス本部 シニアマネージャー 松山 征嗣

※医療現場の参加者は、診療時間内の参加は難しいため、
VODなどによる視聴方法を検討してはとの意見あり。

JIRA会員向け・JIRA外 勉強会・セミナーの開催

- 経済部会診療報酬委員会・画像診断レポート委員会共催

合同セミナー「既読管理セミナー」（12月2日）

– **リアルタイム開催とVOD配信**によるハイブリッド開催

- I. 開催方法：Zoom Webinar （講師、関係者JIRA事務所より発信）
- II. 募集人数：80名 （**当日参加69名 および 2月末までVOD公開**）
- III. 参加対象：JIRA会員 および 非会員
- IV. 参加費用：JIRA会員または医療機関関係者 ¥ 3,300、その他 ¥ 6,600

「既読管理セミナー」プログラム

1. 報告書管理体制加算に関する診療報酬上の評価について
日本画像医療システム工業会 経済部会 鍵谷昭典 部会長
2. 画像診断報告書管理体制と管理者研修
日本診療放射線技師会 児玉直樹 副会長
3. 画像診断報告書管理体制の実例
大船中央病院 放射線科 青木陽介 先生
4. 既読管理機能仕様項目の詳細 ～放射線レポートシステムベンダーの視点から～
JIRAレポート委員会 原真 委員長

セミナー・勉強会開催の評価

○評価できる点：

- 他の部会や職能団体等と協力して情報提供ができたこと
- サイバーセキュリティ対策や画像診断報告書管理体制などタイムリーなテーマを取り上げられたこと
- VOD配信によって場所・時間を選ばず情報提供できたこと
- 医療情報技師育成部会や医学雑誌社の協力を得て開催を周知でき、多くの医療現場の方に聴講いただけたこと

×反省する点：

- Mナンバーを持つJIRA登録委員全体への広報の方法がないこと
- Webinarで講師の音声などに不備があったこと
- アンケート入力にタイムラグ⇒本日はWebinar退出から直接アンケートへ

2023年度に向けての課題

- 委員会を運営するための**人材確保**が重要課題
 - 当委員会では各委員会から随時**委員を募集**しています
- 委員会が開催するセミナーに**ガイドライン**が必要
 - 有料、無料の基準、技師ポイント付与の基準、広報活動、委員派遣、その他の指針策定
- セミナー支援以外の事業計画**活動の活性化**

御清聴 ありがとうございました。